

メルシーますみ 十一月
「サザンカ」コンサート

(オカリナ演奏)

① 糸

② 案山子 (かかし)



紅葉(もみぢ) (明治四十四年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

秋の夕日に 照(てる)る山もみぢ
濃いも薄いも 数ある中に
松をいろどる 楓(かえで)や蔦(つた)は
山のふもとの裾模様(すそもよう)

溪(たに)の流れに 散り浮く紅葉
波にゆられて 離れて寄って
赤や黄色の 色様々(さまざま)に
水の上にも 織(お)る錦



旅愁 (明治四十年)

作詞・犬童球溪 作曲・オードウェイ

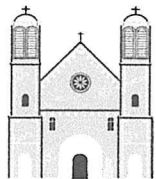
更(よ)け行く秋の夜 旅(たび)の空の
わびしき思いに ひとりなやむ
恋(こい)しやふるさと なつかし父母
夢路(ゆめじ)にたどるは
故郷(さと)の家路(いえじ)
更(よ)け行く秋の夜 旅(たび)の空の
わびしき思いに ひとりなやむ

窓うつ嵐(あらし)に 夢もやぶれ
遥(はる)けき彼方(かなた)に、こころ迷う
恋(こい)しやふるさと なつかし父母
思いに浮かぶは 杜(もり)のこずえ
窓うつ嵐(あらし)に 夢もやぶれ
遥(はる)けき彼方(かなた)に 心まよう

長崎の鐘 (昭和二十四年)

歌・藤山一郎
作詞・サトウハチロー 作曲・古関裕而

こよなく晴れた 青空を
悲しと思う せつなさよ
うねりの波の 人の世に
はかなく生きる 野の花よ
なぐさめ はげまし 長崎の
ああ 長崎の鐘が鳴る



東京ラプソディ (昭和十一年) 歌・藤山一郎

作詞・門田ゆたか 作曲・古賀政男

花咲き花散る 宵も
銀座の 柳の下で
待つは君ひとり 君ひとり
逢えば行く テイルーム
樂し都 恋の都
夢の樂園よ 花の東京
現に夢見る 君の
神田は 想い出の街
いまもこの胸に この胸に
ニコライの 鐘もなる
樂し都 恋の都
夢の樂園よ 花の東京



故郷 (ふるさと) (大正三年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

兎(うさぎ)追いし かの山
小鮒(こぶな)釣りし かの川
夢は今も めぐりて、
忘れがたき 故郷(ふるさと)
如何(いか)に在(い)ます 父母
恙(つつが)なしや 友がき
雨に風に つけても
思い出(い)ずる 故郷
(最後二行 繰り返し)

